

秀明大学

英語情報
マネジメント学部

英国立大学 進学コース

英語圏への長期留学を目指す日本人学生のために設置された画期的なコースです。英語力に特別な自信がなくても、英検2級程度の実力さえあれば、英語力を無理なく伸ばしつつ、かつ短期間で英国立大学の学位を取得することができます。日本人特有の弱点に焦点を当てたサポートシステムも充実しています。

■ 国際舞台で活躍できる 人材を育成

4年半の英国留学により、すぐれた英語力はもちろんのこと、世界の一流の学問に触れ国際的な教養を習得します。地球的視野で物事を論じ、判断し、的確に伝える能力を養います。

■ 英国の大学での授業 について

英国の大学における授業は、講義のほか、10数名程度のクラスで、討論と論証を徹底的に行う授業形式が中心です。授業数は少なめですが、講義内容や討論内容に関係する書物を読破するための時間が必要になります。また、定期的に課題論文の提出が義務づけられており、学生の平均学習時間は日本の大学生よりもはるかに多くなります。

■ 英国立大学の学位取得をめざす

1年次4月に渡英後、4年半留学し、ケント大学をはじめとする英国立大学の学位取得を目指すコースです。最初の2年半は秀明大学の学生としてチョーサー・カレッジ・カンタベリー（通称 CCC）で学びます。CCCは英国立ケント大学の敷地内にあり、最初の2年半の課程もケント大学取得の単位としてに認証されています。残りの2年間は、英国立大学に編入し、それぞれの大学のキャンパスで学ぶこととなります。つまり、渡英より4年半で英国の大学の学位が取得できます。

■ 大学院への道

ケント大学等の英国立大学を卒業後、大学院へ進む道も開かれています。毎年、このコースから大学院に進む学生もいます。

卒業までのスケジュール

2008年4月 秀明大学入学 渡英	集中英語講座（半年間）	2008年9月 ファウンテーションコース	2009年6月 PART I	2009年9月 PART I	2010年6月 PART II	2010年9月 英国立大学編入	2012年7月 英国立大学卒業	大学院進学
チョーサーカレッジ				英国立大学				

■ カリキュラムの概要

社会科学系の科目(とくに国際関係論・政治学・社会学)が中心となるカリキュラムです。まず、ファウンデーションコース(1年次)で英国の大学で学ぶのに必要な英語科目と基礎科目を履修します。そして、Part I(2年次)で将来の専門に関する科目をCCCとケント大学の両方のキャンパスで履修した後、Part II(3・4年次)を英国立大学でそれぞれの専門科目を履修します。

ファウンデーションコース	Part I (2年次)	Part II (3・4年次)
<p>秀明大学に入学し、渡英後、半年間の集中英語講座(IEコース)をCCCで受けます。そして9月から翌年6月までファウンデーションコースが開講されます。</p> <p>ファウンデーションコースでは英語科目と基礎専門教科、時事問題、コンピュータを学習します。授業は全て英語です。それに加え、日本人教員による日本語でのサポートが週1-2時間組み込まれています。</p> <p>● 英語科目 英国の大学で必要となる、学術英語、論文の書き方、討論・研究発表のテクニックを中心に学習します。</p> <p>● 基礎専門教科 社会科学系の基礎教科を学びます。</p> <p>● 地域研究 冷戦と欧州共同体についての学習を通して欧米の政治・国際関係を学びます。</p> <p>● 国際協力 貿易・経済関係の視点から世界情勢の移り変わりを考察します。</p> <p>● 社会学 欧米社会におけるさまざまな諸問題を多角的に分析します。</p> <p>● サポート 外国語で学習すると自分の理解力に不安になりがちです。その不安を解消するため、日本人教員が教科学習をサポートしています。週1-2時間、学習内容についての復習や討論を日本語で行います。</p> <p>● その他 時事問題の授業では話題のニュースを紹介解説し、コンピューターの授業では学習に必要な不可欠な操作を習います。夜間には英会話の授業もあり、ケント大学のサークル活動にも自由に参加することができます。</p>	<p>社会科学系の科目(とくに政治学・国際関係論と社会学)をCCCとケント大学両方で学習します。このコースはファウンデーションコースを修了した年の9月から翌年の6月までです。</p> <p>● 専門教科</p> <ul style="list-style-type: none">○ 政治・民主主義・国家○ 英国の政府と政治○ 国際間の歴史と国際関係○ 国際政治概論○ 東アジアの国際関係○ 比較メディア論○ 現代日本の政治と大衆文化○ 社会学 など <p>ケント大学の政治学・国際関係学部または社会学部の履修科目を選択し、ケント大学の学生と一緒に受講します。各講義に関する討論(セミナー)の授業は基本的にCCCで行われますが、科目によってはケント大学の学生も参加します。</p> <p>● 英語科目 論文の書き方や読解に焦点を当てた英語学習、英国立大学編入に必要な英語試験(IELTS)対策をCCCの英国人教員が行います。</p> <p>● 個人指導 週1時間の英国人教員による個人授業で語学面をサポートすると同時に、日本人教員が専門教科の学習方法に関する個別指導を行っています。</p>	<p>Part Iを修了した年の9月から英国立大学に編入します。ケント大学の政治学・国際関係学部または社会学部へは2年次より編入可能ですが、他大学への編入の場合(各大学の単位認証規定の違いにより)1年次からの編入を求められる可能性もあります。2年次に編入した場合、(英国の大学は通常3年制であるため)その後2年間で学位が取得できます。</p> <p>● 英国立大学への編入条件 英国立大学への編入の際、Part Iでの専門教科の必要単位の取得に加え、IELTSという英語力証明試験で一定の基準に到達する必要があります。(IELTSの試験対策は、Part Iで専門の教員により集中的に行われます。)編入に必要な基準は各大学によって多少異なりますが、ケント大学の政治学・国際関係学部または社会学部への2年次からの編入には6.5が必要とされています。</p> <p>● 編入後の生活 渡英からPart I修了まではCCCで寮生活をします。しかし、Part IIではCCCを離れ、英国立大学の正規の学生として、それぞれの大学のキャンパスで生活し勉強します。CCCでの2年半の寮生活で、英国での生活習慣を身につけ、英語力の自信もつき、学生たちはそれぞれの進路先に巣立っていきます。</p>



■ スタッフ紹介

Dr Keith Wren



キース・レン

ロンドン大学でフランス語とフランス文学を学ぶ。ランカスター大学で講師を務めた後、1983年、ケント大学比較文学部専任講師に就任。1993年から2001年の間、ケント大学文学部全体の学生募集と入学審査を統括。その後、ケント大学エリオットカレッジの学部長を勤めた経歴を持つ。2005年10月、チョーサーカレッジの学長に就任し現在に至る。

Dr Valerie Ainscough



ヴァレリー・アインスコ

ロンドン大学で地理学の学位取得後、レディング大学で英語教育学の修士号を取得。そののち、ケント大学で英語教育学の博士号取得。

1994年以來、チョーサーカレッジの教務主任を勤める。現在、英国立大学進学コースの主任として、同コースの運営とケント大学との連携を図る役割を担っている。

Dr Sarah Hyde



セーラ・ハイド

シェフィールド大学で日本語と日本研究を専攻。日本に渡り、岡山大学で政治学の修士号を取得。その後、英国に戻り、オックスフォード大学で政治学の博士号取得。

現在、英国立ケント大学政治・国際関係学部の専任講師。同時に、英国立大学進学コースで政治学と国際関係論を教えている。

Dr Mitsutoshi Horii



堀井光俊(ほりいみつとし)

秀明英光高等学校卒業。その後、英国立大学進学コース入学。英国立ケント大学で社会学を専攻し学位取得。同大学で社会学の修士号と博士号を取得。

現在、秀明大学講師で、CCCに勤務。ケント大学進学コースで1年次の教科学習サポートを担当。2年次の学生に社会学と比較メディア論を教える。個別指導も行う。

Dr Kalliopi Kyriakopoulou



カリオピ・キリアコポーロ

ギリシアのアテネ大学で哲学を専攻。その後英国に渡り、ケント大学で欧州政治論の修士号取得。同大学で政治学の博士号取得。

現在、ケント大学とチョーサーカレッジの双方で政治学・国際関係関連の教科を教えている。

Mr Chris Madeley



クリス・メイドレイ

ニューキャッスル大学とヨーク大学でフランス語と語学教育を専攻。レディング大学で語学教育学の修士号取得。またロンドン大学で日本研究の修士号取得。

英国立大学進学コースではIELTS(英国立大学編入に必要な英語試験)対策の授業を担当しているほか、ファウンデーションコースで国際協力を教えている。

■ 卒業生から

古田島 智佳さん



東京都立深川高等学校卒業。2005年に英国立大学進学コースを修了し、英国立セント大学で社会学と社会政策論を専攻。2007年7月に学位取得。

「セント大学ではさまざまな社会問題や収集したデータ、また政策事例を分析し、あらゆる場面に適切な政策立案について学びました。これを通し、高度情報社会の中で必要な情報や物事の本質を見極め、社会や個人が何を必要としているかを判断する能力を養うことができました。」

田中 圭さん



秀明英光高等学校卒業。2006年に英国立大学進学コースを修了し、現在、英国立セント大学で政治学と国際関係論を専攻。2008年7月にセント大学卒業予定。

「私は秀明英光高校を卒業し、秀明大学に入学後、チャーサーカレッジの英国立大学進学コースで勉強しました。英国での大学生活を通じて、ただ物事を教わったとおりに解釈するだけではなく、自分自身で深く研究し、もしくは討論を主体とした授業で、さまざまな意見を聞くことで、多方面から物事を見る力を養うことができました。」



チャーサーカレッジのホームページ：
<http://www.chaucercollege.co.uk/> (新)
<http://www.kent.ac.uk/chaucer/> (旧)

■ お問い合わせ

カリキュラム詳細について

英国立大学進学コースの学習内容や留学生活全般に関するお問い合わせはチャーサーカレッジの堀井光俊まで。

Eメール
m.horii@chaucercollege.co.uk

電話番号(国際)
0044-1227-787800

ファックス(国際)
0044-1227-784267

住所(英国)
Dr Mitsutoshi Horii
Chaucer College Canterbury
University Road, Canterbury
Kent CT2 7LJ United Kingdom

入試情報

秀明大学入試室

資料請求専用電話
03-5644-3977

電話
047-488-2331(直通)

Eメール
nyushi@adm.shumei-u.ac.jp

学費、ならびに奨学生制度(「英国立大学進学奨学生」)

上記の秀明大学入試室のほか、秀明大学のホームページでも詳細をご覧ください。

秀明大学ホームページ：
<http://www.shumei-u.ac.jp/>

「英国立大学進学奨学生」の詳細：
<http://www.shumei-u.ac.jp/002nyushi/002-026-eikokuritu.htm>

